

9月の園だより

令和2年9月号 太陽の子保育園

日中の暑さはまだ和らぎませんが、空の雲に秋の気配を感じるようになってきました。残暑の厳しい日が続くことも予想されるので、水分補給をこまめに行ったり、活動と休息のバランスを取ったりしながら、健康に過ごせるようにしていきます。

9月に入り本格的に運動会の練習が始まります。ですが、園庭や散歩先でトンボやコオロギ、ススキ落ち葉など、秋の自然にふれながら季節の移り変わりが感じられる余裕は十分もって日々を過ごしていきます。

保護者の皆様も暑さとコロナでお疲れのことと思います。体調には十分お気をつけいただき、朝食をしっかりとって、この時期を乗り切っていただければと思います。



お迎え時の連絡ボードについて



これまで、保育園での生活の記録(体温・給食・排便など)をお迎え時に掲示していましたが、個人情報保護に関わる行政からの通知により、9月より掲示を中止させていただきます。ただ、これまでと同様に記録は行っていますので、お知りになりたい方は職員までお尋ねください。また、新しい掲示の用紙で「伝達の特記事項」欄に〇印がついている場合は、伝達事項がありますので職員までお声かけください(出来る限り、職員の方からお声掛けするようにはします)。

9月21日は敬老の日です

今年は21日が敬老の日にあたります。敬老の日は多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、また長寿を祝う日です。核家族化が進み、日常生活では高齢者と一緒に過ごす機会が少なくなりがちです。それでも高齢者との交流で子どもたちは、普段私たちが与えられない、素朴で心温まる話や知恵をもらえます。

またおじいちゃん、おばあちゃんにとっても、子どもたちの純粋な笑顔やお話は、最高の贈り物になっているようです。まずは一番身近で、大好きなおじいちゃん、おばあちゃんに「いつもありがとう。いっぱい長生きしてね」と伝えるのもいいですね。遠方に住んでいて、普段会えないおじいちゃん、おばあちゃんには電話などでお祝いの気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。



今年も元気な子どもたちの写真と一緒に、感謝の気持ちをはがきにのせて、お送りします。



9月の予定

- 1(火) 防災集会
- 3(木) プール納め
- 3(木) 歯科検診
- 4(金) 流しそうめん
- 10(木) 音楽指導(幼児)
- 11(金) 虫歯予防集会(幼児)
- 14~18 身体測定
- 16(水) 調理保育(くま)
- 18(金) 職員園内研修
- 23(水) 体育指導(幼児)
- 25(金) 職員会議
- 25(金) お誕生日会
- 30(水) 運動会総練

10月の予定

- 6(火) 体育指導(幼児)
- 10(土) 親子運動会
- 12~16 身体測定
- 15(木) 避難訓練
- 17(土) 親子運動会(雨天)
- 22(木) 音楽指導(幼児)
- 22(木) 職員園内研修
- 23(金) 園外保育
- 27(火) 体育指導(幼児)
- 28(水) 調理保育(らいおん)
- 28(水) 視力検査
- 29(木) 調理保育(ぱんだ)
- 30(金) お誕生日会

後期の保育参加・懇談会も中止とさせていただきます

10月~11月に実施を予定していましたが保育参加・保護者懇談会は、非常に残念ながら中止とさせていただきます。

★らいおん組の保育参加につきましては形式を変えて実施できるよう現在検討しています。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。

不要になった古タオルがありましたら、保育園までお持ちいただくと助かります

園で使用する雑巾用のタオルが足りなくなってきました。つきまして、ご家庭で不要な古タオルがありましたら担任までお渡しいただくと助かります。よろしくをお願いします。



9月1日は防災の日



今年の「総合防災訓練」はコロナ禍の影響により、保護者の方への受け渡し訓練は簡略化させていただきます。子どもたちへの訓練内容としては、災害時の避難の仕方についての話や災害時の避難体験をクラス毎で行い、避難食による給食(アルファ米)、避難訓練を実施する予定です。



親子で防災チェック

●注意点や必要なモノをチェック

災害が起きたとき、やるべきことはなにか、またどんな物が必要になるのかを調べておきましょう。子どもと一緒に自宅周辺を散歩しながら、避難場所までのルートも確認しておくといいですね。

身の周り、家の周りの危険性を確認しましょう。
落下・転倒防止対策を行いましょう。
火災防止対策を行いましょう。
身の安全対策を行いましょう。
家の中の安全チェックを行いましょう。

●非常袋は子ども用品も忘れずに

非常用のアイテムをまとめて用意しておけば、もしものときにすぐに避難できたり、ライフラインがストップしてしまったときの備えにもなります。セットで売られている一般的な非常袋には子ども用のアイテムは入っていないので、おむつなど年齢に合わせて必要なモノを用意しておきましょう。

ミルク・哺乳瓶や離乳食・おむつ・おしりふき・子ども用の防災頭巾・子ども用の薬・下着・洋服・おもちゃなど



災害緊急時の園からの連絡

緊急時における安否情報については一斉メールに合わせ、「災害時用ホームページ」でも発信します。携帯電話からも閲覧できますので、ぜひお気に入りにご登録ください。なお閲覧の際にはユーザー名・パスワードの入力が必要となり、ユーザー名・パスワードともに「sun(小文字)」と入力下さい。

「お気に入り」に未登録の方は登録をお願いします。

太陽の子保育園
災害時用ホームページ

<http://saigai-taiyonoko.sblo.jp/>



赤ちゃんがいる家庭

●地震に備えたお部屋の見直しを!

赤ちゃんの場合は、ベビーベッド周りを、おすわりしたり、一人遊びができる赤ちゃんなら、日頃遊んでいるリビングなどの空間で、ものが落ちたり倒れてくるものがないかを確認しましょう。



●地震に備えたお部屋の見直しを!

タンスなどは倒れないように固定したり、タンス自体は倒れなくても、タンスの上に乘せている箱が落ちてくることもありますから、別の部屋に移動するなどしましょう。倒れ防止の突っ張り棒もありますが、可能なら壁に固定してしまう方が、安心です。

赤ちゃんが過ごす空間にテレビがあることも多いと思いますが、地震でテレビが倒れてくることがあり、要注意です。地デジ化などでテレビが薄く大型になっている場合もあります。テレビ画面は不安定ですから、ひもなどを使って、壁に固定するなどしておきましょう。

ものが多くて、安全な空間の確保が難しい場合には、テーブルの下に突っ張り棒のように補強できるものが、ホームセンターなどで売られています。そのようなものを利用するのも一案です。



●地震が来たときの、とっさの行動

ママやパパが赤ちゃんと一緒にいれば、赤ちゃんと自分の安全の確保をしましょう。とっさの場合、安全な場所に移動できず、赤ちゃんを守るためにママやパパが覆い被さるということもあるかもしれませんが、ママやパパが負傷して動けなくなると、赤ちゃんを避難させられなくなります。基本的には、一緒に身を守ることを考えましょう。

キッチンで煮物中など、火を使っている場合も、最近では基本的に自動的に火が消える設計になっているコンロも多くあります。別な部屋から、急いで火を消しに行くよりも、まずは赤ちゃんと自分の身を守り、落ち着いてから火を消しましょう。大きな地震で、移動が可能ならガスの元栓も切っておきましょう。キッチンは、食器や包丁など、倒れたり落ちてくると危険なものが多く危険です。赤ちゃんと一緒にキッチンにいた場合は、火を消して、安全な場所にすぐ移動しましょう。